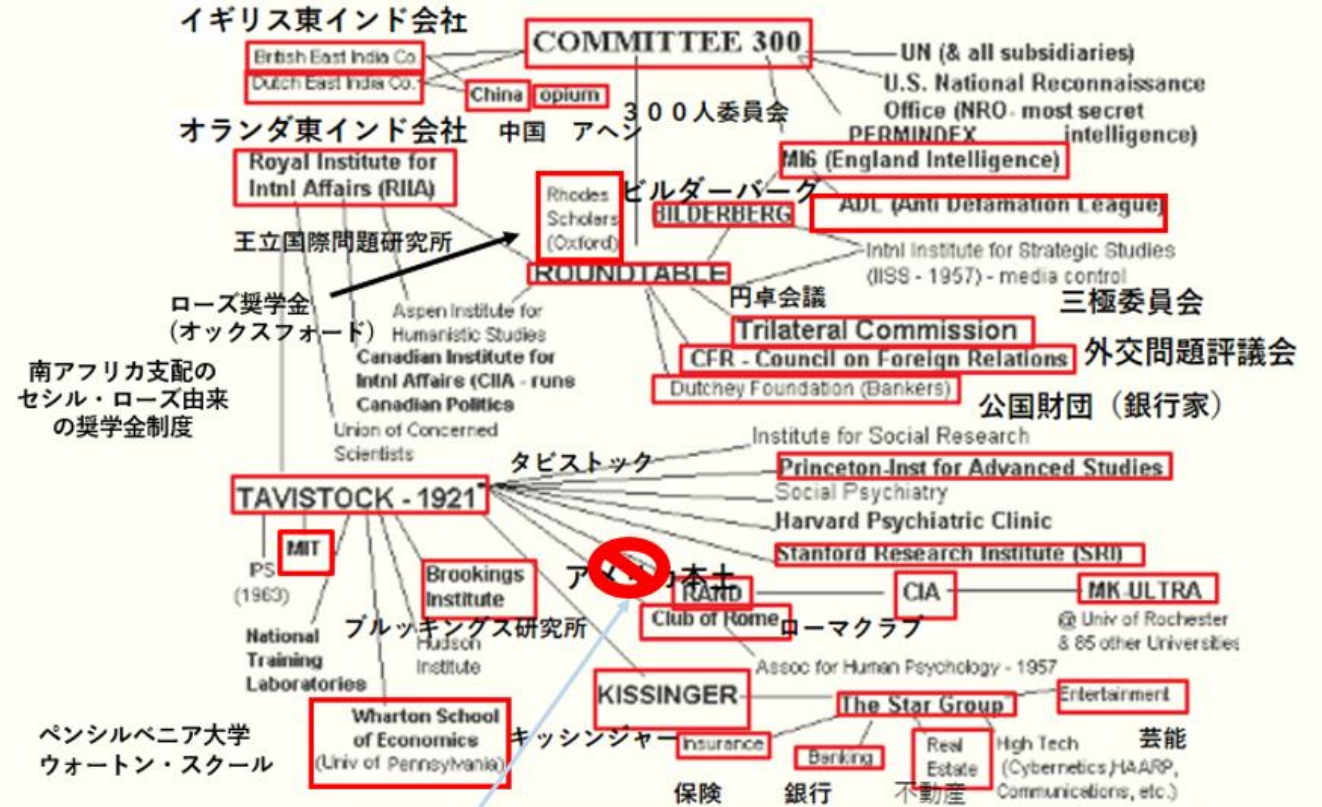


# ～～東インド会社～～



このRANDはランド研究所の意味だと思ひます。訂正しておきます。



橋下徹

@hashimoto\_lo

シンガポールや上海や香港が、なぜ国際競争力のあるスケールのデカイ案をどんどん実行できるのか。それはシンガポールや香港が一つの都市国家であり上海も一つの市だから。一つの意思決定機関の組織だから大胆なプランが実行できる。大阪で大胆なプランを実行しようと思えば都構想が必要だ。

午前1:12 · 2019年4月12日

https://ja.wikipedia.org/wiki/オーバーシー・チャイニーズ銀行

Wikipedia内を検索

検索

## オーバーシー・チャイニーズ銀行

ページ ノート

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

オーバーシー・チャイニーズ銀行(おーばーしー・ちやいにーずぎんこう)あるいは、華僑銀行(かきょうぎんこう)とは、世界恐慌期に華僑系の三銀行が合併し、設立された銀行。シンガポールの地場3大銀行の1つである。略称はOCBC (Oversea Chinese Banking Corporation)。

革命期に海外に流出した華僑資本が中心となっており、シンガポールを拠点として、海外支店は24店、13ヶ国に代表事務所を持つ。台湾やマレーシアなど東南アジア各地に古くからの拠点を持つ。

なお、かつて台湾に、同名の華僑銀行(Bank Of Overseas Chinese)が存在したが、まったくの別会社である。2007年12月1日、シティバンクの台湾現地子会社である「花旗(台湾)銀行」と合併し消滅。2009年8月1日、花旗(台湾)銀行を存続会社として、元々あったシティバンク(美商花旗銀行)とも合併した。ちなみに、OCBCの台北支店は区別するために、新加坡華僑銀行(シンガポール華僑銀行)と呼ばれている。<sup>[1]</sup>



https://ja.wikipedia.org/wiki/テマセク・ホールディングス

約50億SGDから、06年には約3倍の約150億SGDにまで増加した。09年3月現在の地域別の投資事業ポートフォリオはシンガポール31%、国外69%で内訳は以下の通り。

- 31%:シンガポール
- 27%:北アジア(中国、台湾、日本、韓国)
- 9%:ASEAN
- 7%:南アジア(インド、パキスタン)
- 22%:OECD加盟国(日米欧ほか)
- 4%:ラテンアメリカ他

また、UBSやメリルリンチなど、サブプライムローン問題で疲弊した欧米の金融機関にも、多額の資本注入を行って、世界の金融市場で存在感を示す政府系投資ファンドの一つである(07年現在)。日本の、ソフトバンク系金融ITコングロマリット、SBIホールディングスと共同で子会社を設立し、アジアの金融機関を対象に投資活動を行うことを発表した。

### 主な投資先 [編集]

2012年3月時点の主な投資先

金融・銀行業

- 中国銀行 (2%)
- 中国建設銀行 (8%)
- DBS銀行 (30%)
- スタンダード・チャータード銀行 (18%)
- ICICI銀行 (2%)

華僑ネットワークや世界都市の裏にいるのは、英国!?

香港、シンガポール(英国支配) → 中国、台湾

維新

SBIと竹中平蔵  
ソフトバンクと維新

SBIとPSMC



### OCBC銀行 Oversea-Chinese Banking Corporation Limited

種類 公開会社

市場情報 SGX:039

本社所在地 シンガポール

65 Chulia Street #26-00 OCBC Centre

Singapore 049513, シンガポール

設立 1932年10月31日

業種 銀行業

法人番号 3700150000354

外部リンク <https://www.ocbc.com/group/group-home.html>

テンプレートを表示

[https://x.com/hashimoto\\_lo/status/1116373348005470208?s=20](https://x.com/hashimoto_lo/status/1116373348005470208?s=20)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB134V10T11C23A1000000/>

<https://www.asahi.com/articles/ASR9X5VQSR9HOXIE03S.html>

# 本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース

速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会

この記事は会員限定記事です

## シンガポール投資会社、大阪にデータセンター 1000億円

ネット・IT [+フォローする](#)

2023年11月14日 0:00 [会員限定記事]

保存

✉ n X f ↑

シンガポールの投資ファンド、SCキャピタル・パートナーズは大阪市内でデータセンターを建設する。総投資額は1000億円を見込む。完成後はIT（情報技術）企業などに貸し出す。不動産価格が上昇するなか、新たな投資対象としてデータセンターの存在感が高まっている。



朝日新聞デジタル > 記事

### 時時刻刻

## 大阪IR、府・市と事業者が協定 日本初カジノへ、初期投資1兆円超

有料記事

野平悠一 2023年9月28日 18時04分



✉ f X B! ... list 1



大阪IR実施協定の調印文書=2023年9月28日午後5時12分、大阪市住之江区の府咲洲庁舎、林敏行撮影

カジノを含む統合型リゾート（IR）について大阪府は28日、開業への工程などを定めた実施協定を、オリックスと日本MGMリゾートなどが出資するIR事業者の「大阪IR株式会社」と締結した。日本初のカジノ開業に向けて10月にも、大阪・関西万博の会場でもある予定地の人工島・夢洲（ゆめしま）（大阪市 此花区）で地盤の液状化対策工事が始まる予定。開業は2030年秋ごろの見込み。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000208.000022608.html>

産経新聞社は、公共施設の運営権を民間事業者に売却する「コンセッション」に関するシンポジウム「コンセッションフォーラム2018～地方創生の未来～」(後援・内閣府)を平成30年1月13日(土)に東京都千代田区の手町サンケイプラザで開催します。菅義偉官房長官や竹中平蔵・東洋大教授らが出席し、基調講演やコンセッションの最新事例の報告などを行います。入場無料ですが、事前の申し込みが必要です。

### 「通信料の引き下げ」



<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023120100967&g=eco>

#### 【「コンセッションフォーラム2018～地方創生の未来」開催概要】

日時：平成30年1月13日(土) 14時開会、17時終了予定

場所：大手町サンケイプラザ4階ホール(東京都千代田区大手町1-7-2)

内容：基調講演「地方創生・成長戦略からみたコンセッションの意義」竹中平蔵・東洋大教授

特別講演「コンセッションの現状と展望～自治体からの現場報告」

湯崎英彦・広島県知事、高島宗一郎・福岡市長、村井嘉浩・宮城県知事 ※登壇予定順



スマートシティ推進 (左から) 竹中平蔵・東洋大教授、湯崎英彦・広島県知事、高島宗一郎・福岡市長、村井嘉浩・宮城県知事

## ライドシェア「ないのは滑稽」 大阪知事、万博時の導入要望一自民・小泉氏

2023年12月01日 17時29分



自民党の小泉進次郎元環境相は1日、大阪府の吉村洋文知事(日本維新の会共同代表)と国会内で会い、一般ドライバーが有償で乗客を運ぶ「ライドシェア」導入を求める要望書を受け取った。小泉氏は超党派勉強会の世話人を務めている。

米ライドシェアで性的暴行998件 20年、政府答弁書

大要  
要旨  
内

### 結果を出すリーダーはどこが違うのか

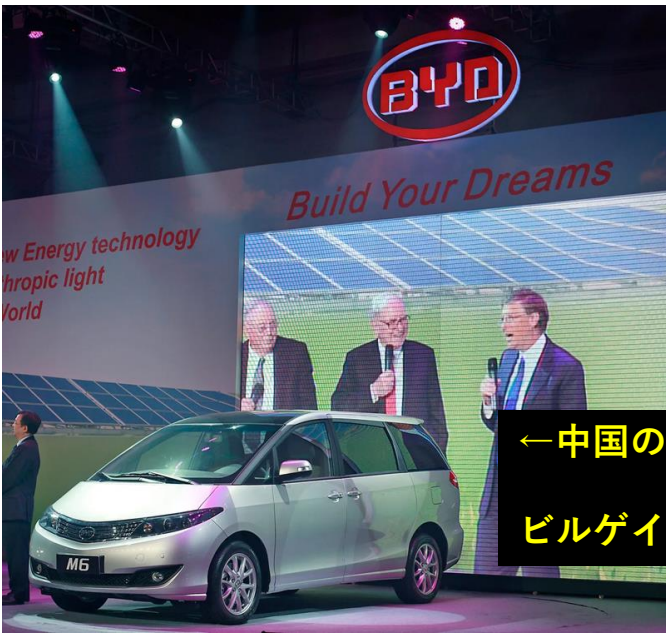


エアに関する  
日午後、国会



河野が居ても不思議じゃない!?

株式会社マクニカ  
<https://www.macnica.co.jp> > ... > コラム  
MaaSとは? 次世代モビリティサービスのメリットをわかりやすく  
2023/07/26 — MaaSは車両の位置情報や乗客、公共交通機関に関する膨大なデータを取得しています。これらのデータをAI分析すれば、スマートシティを実現できます。



## 偶然なのかな!?

台湾の力晶積成半導体 (PSMC) は10月31日、PSMC、SBIホールディングス、宮城県、およびPSMCとSBIホールディングスが準備会社として設立したJSMCの4者が覚書を締結し、JSMCの半導体工場設立地として宮城県黒川郡大衡村の第二仙台北部中核工業団地を選定したと発表 [♻](#) した。

←中国の電気自動車メーカーBYD  
ビルゲイツとウォーレンバフェット

<https://www.seattletimes.com/business/buffetts-company-trims-its-stake-in-chinese-ev-maker-byd/>

## 台湾もシンガポールも香港にしても結局は、中華系には変わらないよね



このほか、1975年に中華民国 (台湾) との間で結ばれた「星光計画」と呼ばれる協力関係が、中華民国とシンガポールの正式な国交解消後も続いている。これは、シンガポールの国土が狭いため、当時のリー・クアンユー首相と蔣経国中華民国総統の間で、シンガポール陸軍部隊の訓練を台湾で行うことなどを取り決めたものである。中華民国と対立を続ける中華人民共和国もシンガポール軍に海南島の訓練施設の提供を申し出たが、シンガポール側はこれに応じていない<sup>[51]</sup>。

さらに、シンガポールとフィリピンが「台湾有事」の際に、台湾の防衛に協力するという「敦邦計画」が存在するとの報道もある<sup>[52][53]</sup>。

ただしリー・クアンユーは、台湾に武力侵攻する場合は武力衝突を避けるべく中華人民共和国は2週間先に事前通告するよう要求している<sup>[54]</sup>。また、中華人民共和国とは2009年、2010年、2014年、2015年に共同軍事演習を行っている<sup>[55][56]</sup>。

人材開発に積極的なことで知られ、国際ランキングでは、教育・医療・経済競争力において、高位に順位付けされる。多文化主義および文化多様性があり、550万人の人口の38%は、永住者およびその他外国籍の人である。シンガポール人は中華系 (74.1%)、マレー系 (13.4%)、インド系 (9.2%) およびユーラシア人に大別でき、大部分は2言語使用者であり、共通語および第2母語として英語を使用する。

# 半導体牛耳る猛者たち TSMCから中国へ 台湾では「裏切者」でも「救世主」 韓国「サムスン」を育てた「英雄」も

2023.12/4 06:30



台湾・新竹県の「TSMC」研究拠点（中央通信社＝共同）

米国から高性能半導体の供給を遮断された中国は、「ならば自製で半導体製造装置もつくってみせる」と開発に拍車をかけた。

米シンクタンクCSIS（戦略国際問題研究所）は「中国の半導体受託生産大手『SMIC（中芯国際集成电路製造）』が、7ナノの先端半導体製造に成功した。米国の規制強化、日本とオランダの製造装置輸出禁止措置は間に合わなかった」と報告した。

真相はおおよそ、次のようである。

中国の「自製」とは？

## 1. 【台湾TSMCと中国SMICで幹部を務めた台湾人、蔣尚義氏】

半導体ファウンドリー（受託製造会社）の世界最大手「TSMC（台湾積体回路製造）」の創業者である張忠謀氏から技術力を見込まれ、共同CEOを務めた蔣尚義氏（台湾生まれ）は、

紆余（うよ）曲折があつて中国SMICの副会長になった。台湾半導体のトップクラスが、中国半導体の中枢企業へ移籍したわけで、「叛将（裏切り者）」呼ばわりされた。

## 2. 【SMICを創業した台湾人、張汝京氏】

SMICを創業した張汝京氏は、中国で「半導体の父」と呼ばれている。中国・南京生まれで台湾育ちの張汝京氏が台湾で起業した会社は経営難となって、TSMCに買収された。このため張汝京氏は数百人の台湾人エンジニアを引き連れて上海へ渡った。

<https://www.zakzak.co.jp/article/20231204-GAM4X5NN2FOU5KUUWEXIIGDFDA/2/> より

**TSMCと非常に近い人物**から、中国本土(SMIC)に技術流出  
というか、中国出身者が中国に帰国しただけと言えそう



### 3. 【中国半導体の魔術師、梁孟松氏は台湾出身】

台湾出身の梁孟松氏を、米紙ウォールストリート・ジャーナルは「中国半導体の魔術師」と比喻した。台湾では「裏切り者」呼ばわり、中国では「救世主」。SMICの5G半導体を成功に導いたのは彼だった。

韓国サムスンがTSMCに猛追できたのは、梁氏が一時、韓国で指導したからとされる。その後、梁氏は台湾の

TSMCに移籍するのだが、居場所がなく中国へ渡った。そこで、梁氏はSMICの14ナノ半導体製造を成功させ、中国の英雄となった。

### 4.【DRAMのゴッドファーザー、高啓全氏は台湾から中国へ】

台湾生まれの高啓全氏は「DRAMのゴッドファーザー」といわれる。台湾大学工業系を卒業し、米ノースカロライナ州立大学で修士号を取得した。米フェアチャイルドから、インテルに移籍し、1987年にTSMCに転職した。2015年に中国へ渡り、半導体最大手「紫光集団」の副総裁に。ところが、翌年退職した。紫光集団は倒産した。

お次もサムスンとSMICの技術向上の裏側にあったのは、**TSMCだと判明**

実は、TSMCが作り出した脅威なのである

台湾と中国は  
なんだかんだ言いながら  
**密接なのが、真相!?**

TSMC誘致は本当に大丈夫か!?

# スタンダードチャータード銀行

34の言語版

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

(スタンダード・チャータード銀行から転送)

この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。(このテンプレートの使い方)

出典検索: "スタンダードチャータード銀行" - ニュース・書籍・スカラー・CINII・J-STAGE・NDL・dlib.jp・ジャパンサーチ・TWL (2020年3月)

スタンダードチャータード銀行 (スタンダードチャータードぎんこう、英: Standard Chartered Bank、英語略称SCB、あるいはStanChart LSE: STAN) は、ロンドンに本拠を置き、世界70カ国に事業ネットワークを展開する世界的な銀行金融グループである。香港ドル発券銀行の一つ。ジョン・メジャーを輩出した。

同行はFTSE100種総合株価指数の採用銘柄であり、筆頭株主はシンガポール政府系ファンドのデマセク・ホールディングスである。

概要 [編集]



[https://encrypted-tbn1.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcQjXsW\\_PsX9eyE8yyuY5h4oNV\\_AuAlyESeQfEgZc83G0CvnZcZ6](https://encrypted-tbn1.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcQjXsW_PsX9eyE8yyuY5h4oNV_AuAlyESeQfEgZc83G0CvnZcZ6)

## チャータード銀行 [編集]

チャータード銀行は1853年、ビクトリア女王からのジェームズ・ウィルソンへの特許状交付に基づき設立。1858年、最初の支店をカルカッタとボンベイに開設したのに引き続き、上海にも進出。翌年には香港に支店、シンガポールに出張所を開設。1862年以降は、香港での紙幣発行銀行となる。1860年代から1900年代にかけてアジア全土へ支店網を広げる中、1880年、横浜に出張所を開設。1900年代初頭には、ニューヨークでの営業許可を得た最初の外国銀行となる。1957年、イースタン銀行を買収し、イエメン、パレチン、レバノン、キプロス、カタール、アラブ首長国連邦へも支店網を広げた。神戸市の旧外国人居留地にあるチャータードビル(旧チャータード銀行神戸支店)は近代建築として著名である。

スタンダードチャータード・ピーエルシー  
Standard Chartered PLC



をしたとして、[連邦海外腐敗行為防止法](#)による合衆国の捜査下にあると伝えられている。

### マリーナベイ(シンガポール) [編集]

2006年5月、アデルソンのラスベガス・サンズはシンガポールのマリーナベイにカジノ・リゾートを建設する許可を得た。2010年に5.5億ドルを費やし新たなカジノであるマリーナベイ・サンズは開業した。ショッピングモールThe Shoppes、サンズライブシリーズのためのコンベンションセンター、複合プール、ナイトクラブ、2500室のラグジュアリールームを兼ね備えている。

### イスラエルの新聞社 [編集]

2007年、アデルソンはイスラエルの新聞社マアリヴの買収に失敗した。この時彼は、ヘブライ語新聞で自身が2006年に共同創刊した(その後退いた)Israeliに對抗して無料の日報新聞を発行するという、もう一つの計画を進めた。そして、日報新聞イスラエル・ハヨムは2007年7月30日に新たに発行された。2014年3月31日、アデルソンはマアリヴと保守系新聞Makor Rishonを買収する許可をエルサレムの裁判所から得た。2016年、アデルソンの代理人は彼がイスラエル・ハヨムを所有しておらず、彼の親族が所有していることを発表した。

### 政治 [編集]

シオニストとして知られ、北米のシオニスト組織『パースライト・イスラエル』に2006年には3,000万ドルを、イスラエル建国70年にあたる2018年には7,000万ドルを寄付している<sup>[5]</sup>。

2016年アメリカ合衆国大統領選挙に立候補してエルサレムのイスラエル首都承認など親イスラエル政策を掲げるドナルド・トランプを資金面で最も支えてきた共和党の大献金者であり<sup>[6][7]</sup>、トランプの大統領就任式にも単独では過去最高額の500万ドル(日本円で5億円)を寄付している<sup>[8]</sup>。マカオに権益も抱えていることからトランプに対して米中貿易戦争で中国と折り合いをつけるよう働きかけたとされ<sup>[9][10]</sup>、2020年1月に行われた米中経済貿易協定の署名式では同じく中国と関わりの深いブラックストーン・グループCEOのステイブン・シュワルツマンや元アメリカ合衆国国務長官のヘンリー・キッシンジャーらとともに出席した<sup>[11]</sup>。2020年8月には新型コロナウイルス感染症への対応をめぐる再選に影響を与えるとしてトランプとの口論が報じられたが<sup>[12]</sup>、2020年アメリカ合衆国大統領選挙の際も現職のトランプを支持して7500万ドル(日本円で約80億円)を拠出した最大の支援者だった<sup>[13]</sup>。その死の際にはトランプは「シェルドンは真のアメリカンドリームを体現した。彼の創造力や才能が計り知れない富をもたらし、その性格と慈善活動は偉大だった」と惜しんだ<sup>[4]</sup>。



アデルソンとその妻ミリアムが、メノーラーを贈られるドナルド・トランプ (2019年12月7日)

### サンズ・カジノ [編集]

#### ラスベガス(ネバダ州) [編集]

1988年、アデルソンと彼の仲間はラスベガスのSands Hotel and Casinoを買収した。ここは以前からフランク・シナトラやRat Packの行きつけでもあった。翌年、アデルソンたちはSands Expo and Convention Centerを建設した。その時はまだ個人所有でアメリカのコンベンションセンターにより運営されていた。1991年、彼は後妻のミリアムとハネムーンでヴェネツィアを訪れていた時、巨大リゾートホテルの構想を得た。そして彼は、Sands Hotel and Casinoを取り壊した後、1.5億ドルを費やしヴェネツィアをテーマとしたカジノ・リゾートであるザ・ベネチアンを建設した。ザ・ベネチアンは1999年5月3日に開業し、2003年には1,013室のスイートルームを持つ別館棟であるVenezia Towerを開業させ、ホテルは4,049室のスイートルーム、18軒のレストラン、ゴンドラのは行き来する運河を併設したショッピングモールを持つこととなった。2007年8月、アデルソンは2.4億ドルを費やしコタイにザ・ベネチアン・マカオを開業した。そしてコタイ地区に大規模集中型リゾート地Cotai Stripを建設することを発表した。

#### ベスレヘム(ペンシルベニア州) [編集]

2000年代後半、アデルソンたちの会社はペンシルベニア州のベスレヘムにカジノ・リゾートを建設することを決定した。2006年にPennsylvania Gaming Control Boardによってスロットの許可が与えられた5つのカジノの内の一つとなった。カジノは2009年5月22日に開業し、テーブルゲームは2010年7月18日に始まった。ホテルは2011年5月27日に開業した。

#### マカオ(中華人民共和国) [編集]

アデルソンはサンズのブランドを、1999年12月までポルトガル領であった中華人民共和国のギャンブル街マカオに持ち込む主要プロジェクトの指揮をとった。2004年に開業した100万平方フィートの広さを持つサンズ・マカオは、外資参入が解禁された中国マカオで最初のラスベガススタイルのカジノとなった。彼は2004年12月の株式公開時に69%の株を所有していたため、最初の投資額である2億5600万ドルを1年間で取り戻した。サンズ・マカオが開業して以来、アデルソンの財産は14倍以上にもなった。アデルソンの会社はマカオの弁護士に送金をしたとして、[連邦海外腐敗行為防止法](#)による合衆国の捜査下にあると伝えられている。

#### マリーナベイ(シンガポール) [編集]

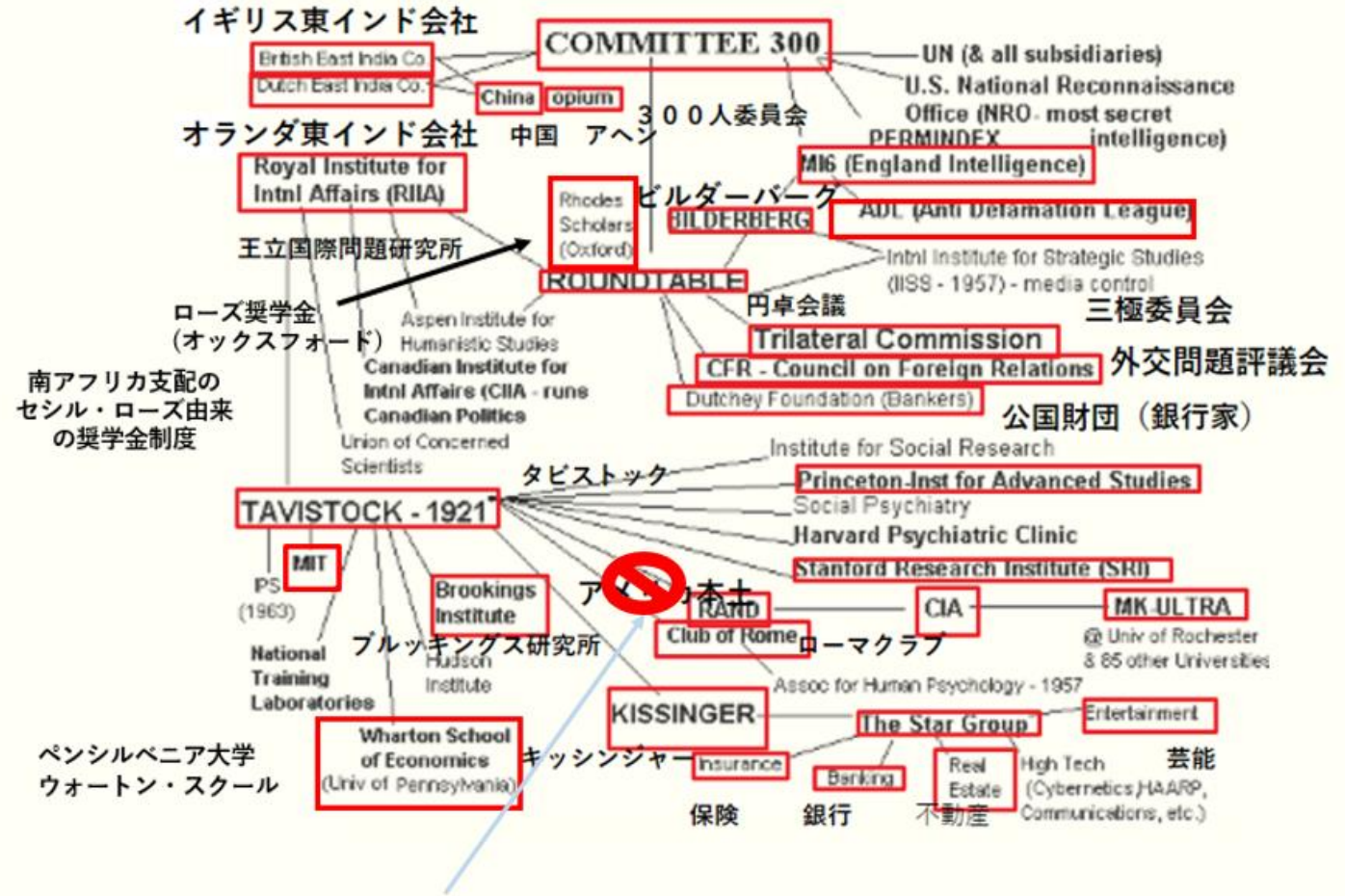
2006年5月、アデルソンのラスベガス・サンズはシンガポールのマリーナベイにカジノ・リゾートを建設する許可を得た。2010年に5.5億ドルを費やし新たなカジノであるマリーナベイ・サンズは開業した。ショッピングモールThe Shoppes、サンズライブシリーズのためのコンベンションセンター、複合プール、ナイトクラブ、2500室のラグジュアリールームを兼ね備えている。

ラスベガス・サンズも大阪カジノの候補業者でもあった!!  
横浜も頓挫したようだけど、**要注意な元祖開港都市**  
**(函館、横浜 神戸(大阪!?) 長崎、新潟)**

維新系、小泉ファミリー、河野、菅じゃないか!?



# ～～東インド会社(part2)～～



このRANDはランド研究所の意味だと思います。訂正しておきます。



## 香港を牛耳るジャーディン・マセソン

この「何東氏」後で、重要だと思います。



s://ja.wikipedia.org/wiki/ジャーディン・マセソン



の解放北路107号に建設した。

1881年、後に香港の大富豪となる何東（サー・ロバート・ホー・トン）が、ジャーディン・マセソン商会に入社し、総買弁、中国総経理を歴任する。

青島、広州、汕頭、福州、長沙、昆明、アモイ、北平（北京）、鎮江、南京、蕪湖、九江、宜昌、沙市、重慶など中国各地に現地事務所を開設。上海、天津を除けば、漢口（現在の武漢市の一部）が最も大きな事務所だった。

1949年、中華人民共和国の建国後は拠点を香港に移す。中国大陸の支店網はすべて1954年に接収・閉鎖され、2000万ドルの損失を被る。第5代目当主のジョン・ケズウィックは、1963年に「英中貿易協会」（SBTC）会長に就任（～1973年）し、共産主義国となった中国との貿易再開に奔走する。1972年に英中の外交関係が完全に正常化し、1973年に周恩来首相と北京で会談。英国産業技術展も開催され、周恩来も視察に訪れる。

香港が中国に返還されるまでは、イギリス植民地資本であるジャーディン・マセソンの役員や幹部らがイギリス植民地下の香港行政局（現在の行政会議）の非官守（官職）議員として参加し、香港政庁の政策に影響力を行使していた。

s://ja.wikipedia.org/wiki/ジャーディン・マセソン



員として参加し、香港政庁の政策に影響力を行使していた。

### 幕末・明治期の日本における歴史 [編集]

かねてより沖縄や台湾、長崎の中国人商人を通じて日本の物品を密貿易していた同社は[1]、江戸幕府が1853年の日米和親条約を皮切りに、1854、1855、1856年と立て続けに日英、日露、日蘭和親条約を締結し、長崎港と函館港を開港すると、1859年（安政6年）に、上海支店にいたイギリス人ウィリアム・ケズウィック（ウィリアム・ジャーディンの姉の子）を日本に派遣した。ケズウィックは西洋の織物、材木、薬などを持ち込み、日本からは石炭、干し魚、鮫皮、海藻、米などを購入、ビジネス的には成功とは言えなかったが、日本製絹の品質の高さに将来性を抱き、1860年初頭に、横浜居留地1番地（旧山下町居留地1番館、現山下町一番地）に「ジャーディン・マセソン商会」横浜支店を設立した[1]。長崎居留地ではデント商会に先を越されたが、横浜でその仇を返した形となった。後に吉田茂の養父・吉田健三が一時期、同社横浜支店長を務めていた。

鹿島によって建設された横浜初の外国商館である社屋は、地元民から「英一番館」と呼ばれた。跡地には現在シルクセンター（国際貿易観光会館）が建っている。

長崎でも、1859年9月19日（安政6年8月23日）に幕末・明治期の重要人物であるトーマス・ブレイク・グラバーが「ジャーディン・マセソン商会」長崎代理店として「グラバー商会」を設立。グラバー商会は、江戸幕府や西南雄藩の艦船・武器購入をめぐる取引に主要な地位を占めた[2]。また薩摩藩の貿易計画や同藩士のイギリス留学の資金調達に重要な役割を果たした[2]。また1863年（文久3年）の長州五傑のイギリス留学の際には商会支店長だったS.J.ゴウアー(Samuel J. Gower. 1862-1865滞日)が出航の手配をした[3]。

その他、神戸・大阪・函館にも代理店を置いた。

## 「ジャーディー・マセソン 長崎支部」のグラバー商会

麻生太郎が財務省を抑えている理由!!  
後ろ盾は、明らかに「ロスチャイルド」



Wikipedia内を検索

検索



言語を追加

# 安田弘

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

**安田 弘**（やすだ ひろし、1933年（昭和8年）3月8日 - 2023年（令和5年）7月31日<sup>[1]</sup>）は、日本の実業家、学校法人理事長。ジャーディン・マセソン（ジャパン）取締役。安田不動産顧問。学校法人安田学園教育会（安田学園中学校・高等学校）理事長。JPモルガン・アセット・マネジメント取締役相談役。マンダリン・オリエンタル東京取締役上席相談役。セコム監査役などを務めた。

安田財閥創始者である安田善次郎の曾孫。

やすだ ひろし <b>安田 弘</b>	
生誕	1933年3月8日 東京
死没	2023年7月31日（90歳没）
死因	老衰
出身校	学習院大学経済学部
職業	実業家、学校法人理事長
親	安田一
テンプレートを表示	

## 来歴・人物 [編集]

安田一の長男として東京に生まれる。

学習院大学経済学部卒業後、ボストン大学に留学<sup>[2]</sup>。旧安田財閥系の沖電気工業に入社<sup>[2]</sup>。

1979年（昭和54年）1月、ジャーディン・マセソンアンド カンパニー（ジャパン）リミテッド取締役に選任され、1986年2月社長、1989年4月会長に就く<sup>[2]</sup>。

1991年（平成3年）安田商工教育会（現・安田学園教育会）理事長に就任し、曾祖父が開設した学園の改革に挑み、商工業の実業科を併設した男子校を男女共学にし、普通科だけの進学校とした<sup>[2]</sup>。

1993年（平成5年）6月、安田不動産顧問に就任。

1999年（平成11年）1月、日本ジャーディン・フレミング・グループ代表就任。翌年1月、同社がJPモルガン・チェースに買収されると、商号を改めたJPモルガン・フレミング・アセット・マネジメント・ジャパン会長となり、2002年1月、取締役相談役に退く。





2004年（平成16年）9月、ジャーディン・マセソン系企業で、日本橋三井タワー上層部に開業を控えるマンダリン・オリエンタル東京代表取締役就任し、2006年3月、取締役相談役に退く。2009年11月には、ジャーディン・マセソンのOB、OG等約100人が日本のジャーディン創立150周年と横浜開港150周年を記念する祝賀会が催され、それに出席した<sup>[3]</sup>。

2023年7月31日、老衰で死去。90歳没<sup>[1]</sup>。10月25日、パレスホテル東京で開かれたお別れの会には約750人が参列。故人を偲んだ<sup>[2]</sup>。

## 著述 [編集]

- 「幕末のジャーディン」『証券アナリストジャーナル』、東京証券アナリスト協会、1999年11月、57-59頁。

## 共著

- 「外国とリンクして作動する資本主義のシステムの構築を！」『セールスマネジャー』、ダイヤモンド社、1999年1月、27-31頁。

## 親族 [編集]

- 麻生太郎（第92代内閣総理大臣） - はとこ（やんちゃ坊主だった麻生少年を叱っていたという<sup>[4]</sup>）
- オノ・ヨーコ（前衛芸術家・音楽家、ジョン・レノンの妻） - はとこ（オノの母方の曾祖父が安田善次郎）

そして、麻生太郎との距離も近い。  
共通するのは、「マセソン」でもあるし。  
逆に、「麻生太郎」ってどれほどの  
「上級国民」な訳よ（笑）



## 現在の影響力 [編集]

ジャーディン・マセソン・グループは、ウィリアム・ジャーディンの死後、甥であるウィリアム・ケズウィックの子孫によって運営され、その影響力は今なお健在である。現在でも国際コングロマリットとして香港を中心に中国・シンガポール・アメリカ・ヨーロッパ・オーストラリア・中東・アフリカの一部で活発に展開しており、香港では香港政庁に次ぐ就業者数を誇っている。

### 人物

#### 欧米系

- ウィリアム・ジャーディン - 創業者
- ジェームス・マセソン - 創業者
- ケズウィック・ファミリー - オーナー家
- トーマス・ブレイク・グラバー - 「マセソン商会・長崎代理人」としてグラバー商会を設立

#### アジア系

- 吉田健三 - 元ジャーディン・マセソン商会・横浜支店長（内閣総理大臣吉田茂の義父）
- 安田弘 - 元ジャーディン・マセソン・ジャパン代表取締役会長（安田不動産顧問・学校法人安田学園理事長）
- 唐廷枢 - 元ジャーディン・マセソン商会員弁、天津事務所責任者何甘棠
- 何東（ロバート・ホー・トン卿） - 元ジャーディン・マセソン商会総買弁（マカオのカジノ王スタンレー・ホーは弟の孫）
- 何福（中国語版） - 何東の弟、何東引退後ジャーディン・マセソン商会総買弁（マカオのカジノ王スタンレー・ホーの祖父）
- 何甘棠（中国語版） - 何東の弟、ジャーディン・マセソン商会員弁（ブルース・リーの母方の祖父）

### 建物、支店など

#### 香港

- 銅鑼灣 - 英国植民地政府によってジャーディン・マセソンへと払い下げられた土地
- ヌーンデイ・ガン（午砲） - 正午告げる空砲（香港・銅鑼湾）
- ジャーディン・ハウス（怡和大廈） - ヘッドオフィス

#### 中国

- 沙面島 - 設立当時の拠点地
- 旧ジャーディン・マセソン商会ビル - 旧中国本社（上海支店）
- 天津ジャーディン・マセソン商会ビル - 旧天津支店

#### 日本



「何東氏」の弟の孫が、マカオのカジノ王

しかも、このスタンレー・ホーは「ヤバイ国」に、投資してますから

後、「何東氏」自身の血統も「なるほどね」と思いました。

控えめに言って、「エリート」かな。

### 日本

- 英一番館 - 旧横浜支店
- グラバー商会 - 旧長崎代理店

### 歴史

- アヘン戦争
- 壬戌丸 - 幕末期長州藩の軍艦
- チェルスウィック号 - 長州五傑（長州ファイブ）が横浜を出航をする際に乗った船
- 薩長因縁の昭和平成史（完）／萬晩報 - ケズウィック・ファミリーと日本
- フリーメーソン-30/Renaissancejapan - ジャーディン・マセソン商会の歴史
- CBBC celebrates 50 years／英中貿易協会 - ジョン・ケズウィックと周恩来

### その他

- フォーチュン・グローバル500社/Fortune - 世界437位

**何東**（かとう、1862年12月22日 - 1956年4月26日）。本名は**何啓東**，字は曉生。香港の名門「何東一族」の始祖。ジャーディン・マセソン商会総買弁の後に著名な実業家となる。

## 生涯 [編集]

ユダヤ人の血を引くオランダ系イギリス人の父と香港人の母から生まれる。両親は正式な結婚でなく、父の事業の失敗後に蒸発してしまう。以後、母ひとりで何東たちを育てる。幼年期に私塾に通い、その後、名門である中央書院（今の皇仁書院）に進学し、1878年に優秀な成績で卒業した。

卒業後は貿易商社の「広東海関」に入社し、人脈づくりとヨーロッパとの貿易業務を担当した。1881年に職後、ジャーディン・マセソン商会に入社し、貿易業務と翻訳業務を担当する。業績が認められて、すぐに総買弁に抜擢される。1883年からはジャーディン・マセソン商会の買弁と同時に、設立したばかりの「香火燭保険公司」と「広東保険公司」の総買弁も任される。さらに、自社の「何東公司」（Ho Tung & Company）も設立し、砂糖の売買を手がける。

弟の何福と何甘棠もジャーディン・マセソン商会に買弁として入社させ、自身は1894年にジャーディン・マセソン商会中国総経理に就任する。1900年に健康上の理由から辞職し、何福が後を継いだ。

ジャーディン・マセソン商会を辞職した後は、自身の商売に心血を注いだ。貿易業務以外にも運送業や不動産業にも進出した。また、1928年前後に経営難に陥っていた『工商日報』に資金提供し、経営再建に成功している。香港以外でも上海、青島、東北地方、マカオなどにも巨額の投資を行った。



## 主な榮譽、勲章 [編集]

- JP（イギリス、1899年）
- ナイト（英ジョージ5世、1915年）
- 一等大綬嘉禾章（中国、1922年）
- ナイト（ポルトガル、1925年）
- レジオンドヌール勲章（フランス、1932年）
- 赤十字勲章（ドイツ、1932年）
- ナイト（イタリア、1933年）
- KBE（イギリス、1955年）

## 何東一族 [編集]

何東一族は、英領香港時代における四大一族のひとつ。

### 妻

正室、側室1人、妾1人

### 子女

異母兄弟13人

### 兄弟

何啓福（何福）、何啓棠（**何甘棠**）ら7人

### 子孫

- スタンレー・ホー（マカオのカジノ王、弟・何福の孫）
- ブルース・リー（俳優、弟・何甘棠の孫）

🔍 Wikipedia内を検索

検索

[アカウント作成](#) [ログイン](#)

# スタンレー・ホー

🗺️ 23の言語版 ▾

[ページ](#) [ノート](#)

[閲覧](#) [編集](#) [履歴表示](#) [ツール](#) ▾



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

**スタンレー・ホー**（漢字：何鴻燊、英語：Stanley Ho、1921年11月25日 - 2020年5月26日）は、香港、マカオの実業家。

香港およびマカオ等において多数の土地を所有すると同時に、娯楽、観光、船舶、不動産、航空、銀行など、多種にわたるビジネスを展開している。実に35年以上に亘ってマカオのギャンブル産業界に君臨し続けており、同国におけるカジノの経営権を長年独占していたというその様態をもって、時に「ギャンブルの帝王」、「マカオの盟主」、「カジノ王」などと渾名されることもある。

## 人物 [編集]

マカオのカジノ運営権を2002年まで独占していた「[マカオ旅行娯楽会社](#)（中国語版、英語版）（澳門旅遊娛樂股份有限公司、Sociedade de Turismo e Diversões de Macau）」の経営者であり、マカオで最も富裕な人物であると同時に、アジアにおける上位富豪の一人に数えられ、雑誌フォーブスの2006年度世界長者番付において、世界で59番目の長者に選ばれている。その収入はマカオのGDPのおよそ三分の一を構成するとされ、また、2003年度に納めた税額はマカオ政府の歳入の30%に達した。

スタンレー・ホー



プロフィール

出生：1921年11月25日

ホーはマカオとともに中華人民共和国の特別行政区となった香港に在住し、第9期・第10期・第11期全国政治協商会議常務委員)<sup>[1]</sup>などの役職を務めている。香港市場への支配力もかなりの部分に及んで強力なものであるとされ、北朝鮮、ベトナム、フィリピンなどでの投資も場合により活発に行っている。

## 来歴 [編集]

## 生い立ち [編集]

曾祖父は広東省出身の女性と結婚したユダヤ系オランダ人。その息子の一人がジャーディン・マセソン商会総買弁の何東（ロバート・ホー・トン卿）で、スタンレー・ホーの大伯父にあたる。スタンレー・ホーは、何東の弟である何福（中国語版）の孫。

出生：	1921年11月25日
死去：	2020年5月26日（98歳没）
出身地：	イギリス領香港
職業：	実業家
各種表記	
繁体字：	何鴻燊
簡体字：	何鸿燊
拼音：	Hé Hóngshēn
英語名：	Stanley Ho Hung-sun
<small>テンプレートを表示</small>	

「**カジノの金が北へ**」というよりも、我々は知らないだけで、  
始めから「**北朝鮮も彼らの創作物**」なのでしょう。

麻生太郎と日韓トンネル(統一教会)と北朝鮮事業  
安倍晋三(下関)と池口恵観(鮫島)→小泉(旧姓：鮫島)  
そして、「北朝鮮から拉致被害者が帰還」

横田基地から北の直行便の噂。パチンコ(GHQ)と北朝鮮。  
日米合同委員会と統一教会など。統一教会って諜報部隊かい。

p.3以降が大事な話

<https://www.jk-tunnel.or.jp/archive/jkt-shinbun-shoseki/shinbun-shoseki/jkt-ss-548.pdf>



をしたとして、[連邦海外腐敗行為防止法](#)による合衆国の捜査下にあると伝えられている。

### マリーナベイ(シンガポール) [編集]

2006年5月、アデルソンのラスベガス・サンズはシンガポールのマリーナベイにカジノ・リゾートを建設する許可を得た。2010年に5.5億ドルを費やし新たなカジノであるマリーナベイ・サンズは開業した。ショッピングモールThe Shoppes、サンズライブシリーズのためのコンベンションセンター、複合プール、ナイトクラブ、2500室のラグジュアリールームを兼ね備えている。

### イスラエルの新聞社 [編集]

2007年、アデルソンはイスラエルの新聞社マアリヴの買収に失敗した。この時彼は、ヘブライ語新聞で自身が2006年に共同創刊した(その後退いた)Israeliに對抗して無料の日報新聞を発行するという、もう一つの計画を進めた。そして、日報新聞イスラエル・ハヨムは2007年7月30日に新たに発行された。2014年3月31日、アデルソンはマアリヴと保守系新聞Makor Rishonを買収する許可をエルサレムの裁判所から得た。2016年、アデルソンの代理人は彼がイスラエル・ハヨムを所有しておらず、彼の親族が所有していることを発表した。

### 政治 [編集]

シオニストとして知られ、北米のシオニスト組織『パースライト・イスラエル』に2006年には3,000万ドルを、イスラエル建国70年にあたる2018年には7,000万ドルを寄付している<sup>[9]</sup>。

2016年アメリカ合衆国大統領選挙に立候補してエルサレムのイスラエル首都承認など親イスラエル政策を掲げるドナルド・トランプを資金面で最も支えてきた共和党の大献金者であり<sup>[6]</sup><sup>[7]</sup>、トランプの大統領就任式にも単独では過去最高額の500万ドル(日本円で5億円)を寄付している<sup>[8]</sup>。マカオに権益も抱えていることからトランプに対して米中貿易戦争で中国と折り合いをつけるよう働きかけたとされ<sup>[9]</sup><sup>[10]</sup>、2020年1月に行われた米中経済貿易協定の署名式では同じく中国と関わりの深いブラックストーン・グループCEOのステイーブン・シュワルツマンや元アメリカ合衆国国務長官のヘンリー・キッシンジャーらとともに出席した<sup>[11]</sup>。2020年8月には新型コロナウイルス感染症への対応をめぐる再選に影響を与えるとしてトランプとの口論が報じられたが<sup>[12]</sup>、2020年アメリカ合衆国大統領選挙の際も現職のトランプを支持して7500万ドル(日本円で約80億円)を拠出した最大の支援者だった<sup>[13]</sup>。その死の際にはトランプは「シェルドンは真のアメリカンドリームを体現した。彼の創造力や才能が計り知れない富をもたらし、その性格と慈善活動は偉大だった」と惜しんだ<sup>[4]</sup>。



アデルソンとその妻ミリアムが、ドナルド・トランプからメノーラーを贈られるドナルド・トランプ (2019年12月7日)

### サンズ・カジノ [編集]

#### ラスベガス(ネバダ州) [編集]

1988年、アデルソンと彼の仲間はラスベガスのSands Hotel and Casinoを買収した。ここは以前からフランク・シナトラやRat Packの行きつけでもあった。翌年、アデルソンたちはSands Expo and Convention Centerを建設した。その時はまだ個人所有でアメリカのコンベンションセンターにより運営されていた。1991年、彼は後妻のミリアムとハネムーンでヴェネツィアを訪れていた時、巨大リゾートホテルの構想を得た。そして彼は、Sands Hotel and Casinoを取り壊した後、1.5億ドルを費やしヴェネツィアをテーマとしたカジノ・リゾートであるザ・ベネチアンを建設した。ザ・ベネチアンは1999年5月3日に開業し、2003年には1,013室のスイートルームを持つ別館棟であるVenezia Towerを開業させ、ホテルは4,049室のスイートルーム、18軒のレストラン、ゴンドラの行き来する運河を併設したショッピングモールを持つこととなった。2007年8月、アデルソンは2.4億ドルを費やしコタイにザ・ベネチアン・マカオを開業した。そしてコタイ地区に大規模集中型リゾート地Cotai Stripを建設することを発表した。

#### ベスレヘム(ペンシルベニア州) [編集]

2000年代後半、アデルソンたちの会社はペンシルベニア州のベスレヘムにカジノ・リゾートを建設することを決定した。2006年にPennsylvania Gaming Control Boardによってスロットの許可が与えられた5つのカジノの内の一つとなった。カジノは2009年5月22日に開業し、テーブルゲームは2010年7月18日に始まった。ホテルは2011年5月27日に開業した。

#### マカオ(中華人民共和国) [編集]

アデルソンはサンズのブランドを、1999年12月までポルトガル領であった中華人民共和国のギャンブル街マカオに持ち込む主要プロジェクトの指揮をとった。2004年に開業した100万平方フィートの広さを持つサンズ・マカオは、外資参入が解禁された中国マカオで最初のラスベガススタイルのカジノとなった。彼は2004年12月の株式公開時に69%の株を所有していたため、最初の投資額である2億5600万ドルを1年間で取り戻した。サンズ・マカオが開業して以来、アデルソンの財産は14倍以上にもなった。アデルソンの会社はマカオの弁護士に送金をしたとして、[連邦海外腐敗行為防止法](#)による合衆国の捜査下にあると伝えられている。

#### マリーナベイ(シンガポール) [編集]

2006年5月、アデルソンのラスベガス・サンズはシンガポールのマリーナベイにカジノ・リゾートを建設する許可を得た。2010年に5.5億ドルを費やし新たなカジノであるマリーナベイ・サンズは開業した。ショッピングモールThe Shoppes、サンズライブシリーズのためのコンベンションセンター、複合プール、ナイトクラブ、2500室のラグジュアリールームを兼ね備えている。

いずれにしても、**カジノは「ユダヤ支配!？」**  
高級ホテルとかも怪しいですね。(ブランド品とかも)



## 小渕優子よりひどい!? 安倍首相が世襲したパチンコ御殿と暴力団人脈

<https://lite-ra.com/2014/10/post-594.html> より



このふたつはまったく離れた場所にあるのだが、どちらも元は同じ会社が土地、建物を所有していた。会社の名前は東洋エンタープライズ。下関で最大手のパチンコ業者で、親会社の七洋物産は福岡、山口で多くのパチンコ店を経営している。創業者・オーナーの吉本章治氏（故人）は、2002年には韓国から国民勲章「無窮花章」を受賞するなど、在日韓国人社会の重鎮でもある。

実は、この東洋エンタープライズ、そしてオーナーの吉本一族は、安倍首相にとって父親の代から続く地元の有力 スポンサー なのだ。吉本氏が無窮花章を受賞した際、パーティに来賓として出席した安倍首相はこんな挨拶をしている。

(※真偽不明だが、マルハンの関係者に韓鶴子の親族がいるとの話。)

しかし、そうだとすれば確かに色々と辻褄が合う部分もある。(北への送金など)

笹川(勝共連合、競艇、ヤクザ)と統一教会(CIA)とCSIS

松井は、笹川の深い関係者。(住之江競艇場の照明・電気設備関係の工事・補修を一手に請け負う株式会社大通の元代表取締役。wiki情報)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%BE%E4%BA%95%E4%B8%80%E9%83%8E>



この吉本は、お笑いの方。↓

「維新とカジノ」「吉本と維新」「競艇と維新」「吉本と自民」「吉本と帰化人」「吉本と反社」

やっていることが、反社な維新。そもそもが「吉村、橋下、松井も裏社会の人間」。

# ケズウィック家

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示 ツール

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

(ケズウィック・ファミリーから転送)

**ケズウィック家** (the Keswick family: 発音するときはwを発音せず、"Kezzick"(ケジック)となる) はスコットランドに起源を持つビジネス界の名家で、1855年から東アジアに進出し、特に香港に拠点を置く巨大コングロマリットであるジャーディン・マセソン・ホールディングスに関わる一族として有名である。

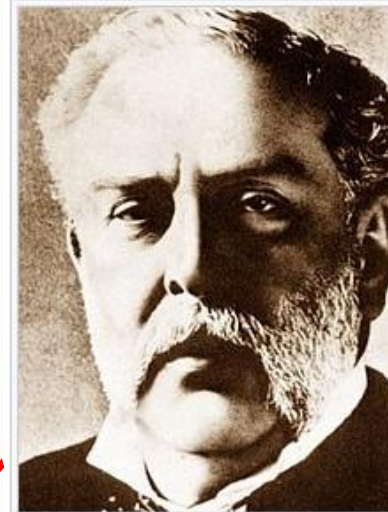
ケズウィック家はジャーディン・マセソンの大班 (タイパン: 経営に携わるもの) として香港上海銀行、インド・チャイナ・スチーム・ナビゲーション・カンパニー (英語版)、カントン・インシュランス・オフィス (現: HSBCインシュランス (英語版))、香港・九龍・ワーフ・アンド・ゴードウン・カンパニー (現: ザ・ワーフ (英語版))、スターフェリー、香港トラム、香港ランド・インベストメント・アンド・エージェンシー、香港・アンド・ワンポア・ドック (英語版) などの所有、経営に携わってきた。

第1世代 [編集]

## HSBCともほぼ一体化したマセソン

**ウィリアム・ケズウィック (1834–1912)** [編集]

**ウィリアム・ケズウィック** (英語版) はケズウィック家の創始者。スコットランドローランド地方生まれ。ジャーディン・マセソン商会を創設したウィリアム・ジャーディンの姉の娘の子。1855年に香港に到着し、ジャーディン商会上海支店 (中国本店) で働く。



ケズウィック家創始者のウィリアム・ケズウィック。ジャーディン・マセソン商会日本支店の初代代表も務めた



ヨークオフィスで2年間働いていた。

## 第3世代 [編集]

第3世代では拠点を香港と上海に拡大し、トニーとジョンは香港、上海、イギリスの政治的な要職も歴任し、グループを拡大していった。

### ウィリアム・ジョンストーン "トニー" ケズウィック (1903-1990) [編集]

ウィリアム・ジョンストーン "トニー" ケズウィックは1926年に東アジアに到着した。1935年から1941年までジャーディン商会上海支店（中国本店）で働き、戦時中は上海市議会の長を務めた。1941年に日本軍によって腕を撃たれ、更に企業の資産は全て没収された。

戦後、ロンドンのマセソン商会のマネージング・ディレクター、ハドソン湾会社の長、イングランド銀行のディレクター、アライアンス・アシュアランスの副会長、ブリティッシュ・ペトロリアムのディレクターを務めた。



ヘンリー・ク



「日本も中国も」英国傘下のヤラせてことでしょうか。

1949年、中華人民共和国の建国後は拠点を香港に移す。中国大陸の支店網はすべて1954年に接収・閉鎖され、2000万ドルの損失を被る。

1952年、香港政庁の非官守（官職）議員に就任。1953年に会長職を辞任した後、1956年にマセソン社に加わる。また、1963年に「英中貿易協会」（SBTC）会長に就任（～1973年）し、共産主義国となった中国との貿易再開に奔走する。1972年に英中の外交関係が完全に正常化し、1973年に周恩来首相と北京で会談。英国産業技術展も開催され、周恩来も視察に訪れる。1970年から1972年まで、ジャーディン・マセソンで代表権のない会長職を務めた。これらの功績により1973年に聖マイケル・聖ジョージ勲章を授かり、サーの称号を得た。

戦時中、英国政府の諜報業務を担っていたという説もある<sup>[5]</sup>。日本と戦う中国の支援が目的で、英国特殊作戦執行部 (SOE)の中国での活動を指揮して、巨大なスパイ網を展開していたという。